

新・こどもと健康

No.73

2023.2.1

インフルエンザは警報レベルに入りそうです

定点当たりの報告数			
期間	大阪府	堺市	当科
12/12~18	0.82	2.59	0
12/19~25	2.21	4.07	0
12/26~1/1	3.57	4.93	0
1/2~8	7.57	7.64	8
1/9~15	12.22	11.29	10
1/16~22	20.46	23.29	14
1/23~29	未集計	未集計	21

インフルエンザの定点当たりの報告数は、1月9日から15日の週に大阪府で12.22、堺市で11.29であり、ともに注意報レベルの目安の10を超えました。次の週はさらに増えています。当科では1月4日からインフルエンザの患者さんが出始め、1月23日から29日の週に21人になっています。その週の大阪府と堺市の集計はまだですが、警報レベルの30超になっているかもしれません。

出典：大阪府感染症情報センターHP『疾患別情報 インフルエンザ定点当たり患者数(直近10週)～3週(1月16日～1月22日)』

3月1日(水)から7日(火)は子ども予防接種週間です ～当科では3月4日(土)12時から接種枠を設けます～ 年長さんはMRワクチンの接種が終わってますか？

入園、入学前に予防接種への関心を高めていただき、予防接種率の向上を図る目的で、日本医師会、日本小児科医会、厚生労働省の主催で3年ぶりに3月1日(水)から7日(火)に『子ども予防接種週間』が実施されます。当科も通常枠以外に、3月4日(土)12時から時間枠を設定し、協力させていただきます。特に年長さんのMRワクチンは3月31日(金)までですので、未接種の方は活用ください。

出典：日本医師会HP『子ども予防接種週間【令和4年度】2023年1月23日』

5月8日以降、新型コロナウイルス感染症は「5類」へ

	現在
感染症法上の分類	2類相当
感染者や濃厚接触者の自宅待機	あり
入院勧告・指示	できる
感染者の把握	全数(9月26日からは限定実施)
対応する医療機関	発熱外来、指定された医療機関
医療費の窓口支払い分	全額公費負担
ワクチン接種費用	全額公費負担
マスク	屋内は着用推奨

5月8日以降
5類
なし
できない
定点に移行
幅広い医療機関
段階的に縮小
段階的に縮小
個人判断が基本

総理は1月27日に「特段の事情が生じない限り5月8日から5類感染症とする」と述べ、新型コロナウイルス感染症の「5類」への引き下げが決定しました。各部門で議論がなされ、手直しがあるかもしれませんが、左記のような変更が見込まれています。学校保健法は「自宅待機なし」にはしないと思いますが…。

出典：読売新聞2023年1月28日朝刊『コロナ「5類」決定』、『高齢者の感染防止課題「5類」移行』、表も記事から一部改変

6か月から4歳の乳幼児用コロナワクチン受付について

特定の水曜の午後1時からの予防接種枠後に接種をしていますが、現在のワクチン事業が3月31日までのため、今から1回目をスタートした場合、3回目の接種の取り扱いがどうなるか、未定です。

5歳から11歳の小児用コロナワクチンの1・2・3回目受付中

特定の土曜に接種をしています。お電話か受付でご予約ください。こちらは12歳以上とは違い、従来型のファイザーワクチンで、2・3回目の間隔は5か月以上のままです。

12歳以上の2価コロナワクチンを受付中

2月接種分を募集しています。当科診療時間内にお電話(072-297-7771)ください。2月からはネット予約を実施しておりません。

日本脳炎ワクチンは入手しやすくなりました

2023年4月から子宮頸がんワクチンの9価ワクチンが定期接種に
2023年4月から四種混合ワクチンが生後2か月で可能に

大人の風しん第5期定期接種の抗体検査・予防接種、受付中

2月1日からしばらく、
発熱外来を拡大します。

感冒症状の**全くない方専用**

午前診 **9:00～10:00**
夕方診 **17:00～17:30**

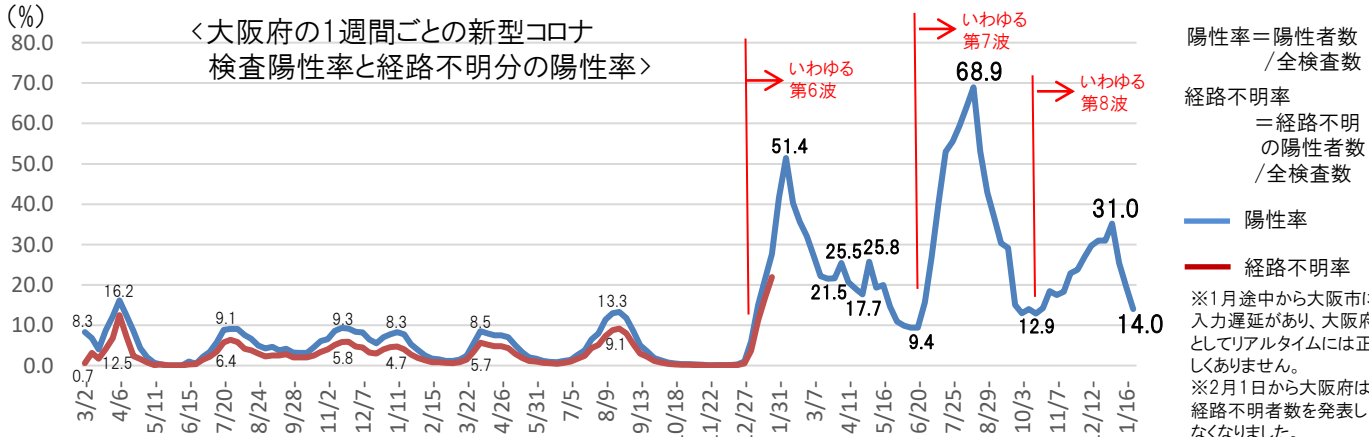
全く感冒症状のない方は、乳児検診、小児一般予防接種、新型コロナワクチン接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種、気管支喘息等の慢性疾患の方の定期受診、皮膚疾患、便秘症などを指します。

当科のコロナ抗原検査の1週間毎の陽性率

検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率	検査数	陽性者数	みなし陽性者数	陽性率					
R4.2/2~	10	3	0	30%	4/18~	14	3	0	21%	7/4~	11	4	1	42%	9/20~	7	2	1	38%	12/5~	14	3	0	21%
2/7~	21	10	4	56%	4/25~	21	7	3	42%	7/11~	31	14	0	45%	9/26~	23	6	1	29%	12/12~	19	3	0	16%
2/14~	11	4	0	36%	5/2~	9	1	0	11%	7/19~	36	13	0	36%	10/3~	17	3	0	18%	12/19~	17	6	0	35%
2/21~	5	3	0	60%	5/9~	18	2	2	20%	7/25~	47	13	6	36%	10/11~	16	3	0	19%	12/26~	7	1	0	14%
2/28~	21	13	1	64%	5/16~	10	1	2	25%	8/1~	23	12	4	65%	10/17~	18	4	0	22%	R5.1/2~	14	2	0	14%
3/7~	14	4	3	41%	5/23~	14	3	0	21%	8/8~	15	6	3	50%	10/24~	11	1	0	9%	1/9~	12	3	0	25%
3/14~	14	6	2	50%	5/30~	8	0	0	0%	8/16~	20	11	6	59%	10/31~	11	0	0	0%	1/16~	33	6	0	18%
3/21~	13	6	1	50%	6/6~	9	1	0	11%	8/22~	27	8	2	34%	11/7~	14	2	0	14%	1/23~	22	3	0	14%
3/28~	10	0	0	0%	6/13~	3	0	0	0%	8/29~	10	4	2	50%	11/14~	10	3	0	30%	計、平均	836	220	47	30%
4/4~	9	1	0	11%	6/20~	10	1	0	10%	9/5~	18	3	2	25%	11/21~	19	1	0	5%					
4/11~	18	2	0	11%	6/27~	8	1	0	13%	9/12~	26	3	1	15%	11/27~	18	5	0	28%					

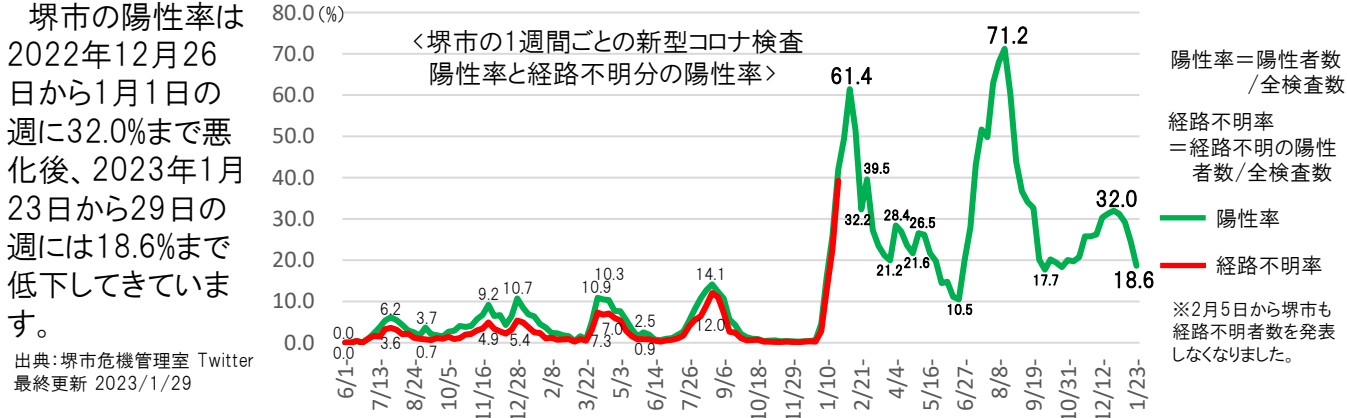
当科での週別のコロナ抗原検査の件数と陽性者数、陽性率です。陽性率は(陽性者数+みなし陽性者数)/(抗原検査数+みなし陽性者数)で計算しています。インフルエンザが流行し始めて、コロナ検査の陽性率は低下してきているようです。

大阪府のコロナ陽性率、ピークアウト



高齢者や基礎疾患あり等でない限り、コロナ検査陽性となった方が自ら陽性者登録センターに申請する方式になった9月26日以降の集計まで遡り、大阪府発表の陽性者数から自己検査陽性・登録者数を引き、陽性率 = 医療機関での陽性者数 / 医療機関での検査数(同一人物に抗原検査とPCR検査の重複はありえます)でのデータに置換しました。12月19日からの週の31.0%が第8波のピークで、1月23日からの週は14.0%まで改善しています。 出典:大阪府HP『大阪府の最新感染動向 最終更新 2023/1/29』

堺市のコロナ陽性率も低下中



2月・担当医の変更

7日(火) 赤澤→片桐
21日(火) 赤澤→片桐